

昭和廿年四月九日

四八 受信〇一三〇 轉丁〇八三〇 電〇四五九三 作 概



機密第〇七一九二八番電

發 G P 參謀長

宛 南西方面艦隊參謀長

最近聯合艦隊司令長官感狀ヲ授與セラレタル南西方面艦隊機密第二三一
 二一五番電ニ依ル西村大尉ノ指揮スル第五中隊水谷大尉ノ指揮スル第六
 中隊及南西方面艦隊機密第一三二三番電ニ依ル岩淵少將ノ指揮スル
 「マニラ」海軍防衛部隊(一部)ナリ爾餘ノモノニ關シテハ資料不備
 (一)合艦隊機密第二四一五一二番電)等ノ爲未詳ニ付(一)聯合艦隊機密

1965

〇七一 呂一Bラ十八(B) G P P 明比(高) 機

996T

第二一八四七番電（三月）再電
聯合艦隊電令第六七〇號ニ依リ貴司令部ニテ然ルベク取計ハレ度。

昭和廿年四月九日

四 八 受信一八七三〇二 譯了一九三五 電〇四八一〇 航作。 本概〇

緊急 四三六空（淡水航空基地）



第五基地航空部隊 機密第〇八一三三五番電

水爆隊戰鬥概報（七日）

一 零式水偵一機夜間索敵ノ爲一五三〇淡水發東港基地ニ向ケ移動
中一八〇〇敵機ト交戦苗栗南方五哩ノ山腹ニ激突大破搭乗員一
名戦死二名負傷ス

二 瑞雲天候不良ノ爲攻撃ヲ實施セズ

三 瑞雲保有九機可動五機在吳保有機四機零式水偵保有〇機。

通五四二六 呂一Bケ七（一三四七五KC）五FGB放 藤野（福田）

八
開始二〇八三〇〇
了
〇二八七七
航作
本〇

昭和廿年四月九日

緊急

古仁屋航空基地

六〇一航空隊・國分第一航空基地



機密第〇八一五〇三番電 二分ノ一

宛 攻撃一飛行長

三月一五〇〇發進ノ機爆(一九時) (杉浦、少尉岩崎中尉) 索敵

巡洋艦ヲシキモノノ大火柱ノ上ガレルヲ發見) 中燃料タン

ク被彈ノ爲一八〇〇頃古仁屋離沖二〇〇米不時着機体沈没杉浦

少尉大艇岩崎中尉雁ニ依リ救助サレ

二七口〇二三〇當際着。

通五四五五 呂一〇七七) 國KEB 水谷(様、 澤)

昭和廿年四月九日

四八 文信一九五〇
譯始二〇二〇

譯了二一〇〇 電〇四八八六

流作
本概

緊急

第一護衛隊



九〇一空

海上護衛隊 九〇一空 (香港空基地) ・ 九〇一空 (三亞空基地)

機密第〇八一七〇八番電

九〇一空 (三亞)

機密第〇七一七〇六番電ノ船ノミニテ臺灣海峡突破ハ困難ト認メラ
ルルニ付三亞空基地前ハ香港ニテ待機トシテラレ候

通五回八二天二ツク六(三)矢 曹田(或田)



四九 話受一八三〇

事 急

海軍省 醫務局長

佐 鎮 軍 醫 長

電〇五二五一

醫作 概 務〇

昭和廿年四月拾日

機密電話第〇九一八三六番電

今次海戰戰傷者准上一九下士官兵五六四佐病ニ收容ス尚八日也
二九ノ爆撃ニ依ル佐廠ノ死者六三傷者一〇九。

通六〇一〇

B	局長	
	一課長	
A		L
B		K
小官(阿部)	J	I
G		C
F		D





局長	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
一	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
A	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
B	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
C	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
D	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
E	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
F	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
G	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
H	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
I	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
J	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
K	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
L	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
M	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
N	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
O	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
P	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
Q	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
R	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
S	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
T	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
U	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
V	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
W	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
X	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
Y	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
Z	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)

聯合艦隊司令部

機密第一三〇八五一番電



航戰參謀長

一A 參謀長

一〇二一 空司令

一A 機密第一〇七二八二五番電

在內地兵力中二組(二機)予量艦隊二戰勤現任務ニ支障ナシク交代ノ

口下ニ手續中。

通八一九九 昌一日夕七() 特通 海氷(麻 田)

四 一三 受信一〇四三〇 丁一一一八 電〇七二五七 航作 本機〇

昭和廿年四月拾參日

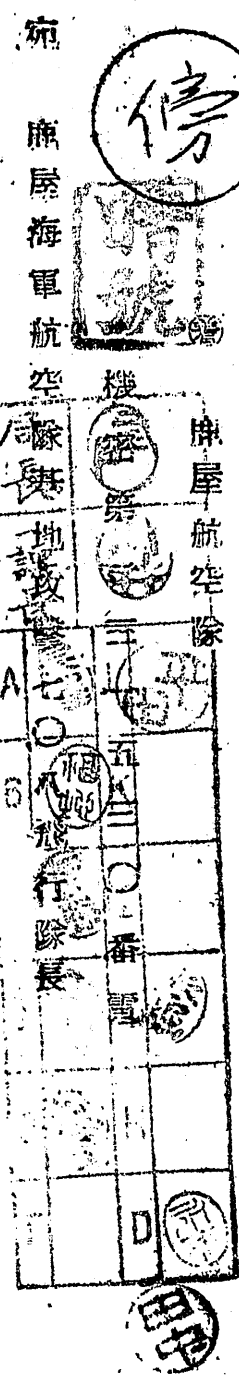
昭和廿年四月拾四日

一三 受信一九三〇八 譯了二〇〇〇 電〇七四八〇 航作機本〇

作戰特別緊急

沖永良部特設見張所

停



二小隊一番機(〇)十〇番(十二日一四四〇)櫻花機投下 戦艦一轟沈ト
 同時ニグラマン四ノ來襲本島〇度一〇軒海面ニ不時着本日ノ一一〇〇
 救助ニ成功セリ岡島中尉増田、未永(戦死)飯山(輕傷)森光(歩行
 不能)青山(左腕重傷)福原(重傷)陸軍病舎委託治療中。

(東通駐 翻譯ニ誤リナシ)

通八四六三 於十四(七四六〇起)大島佐領陸上部隊
 安彦(燈 待)



至急
四二九
受信開始 〇〇三四二
〇四三九
丁〇五四七
電五三八〇

公長	東印部隊機務整備所	二	永
二南道	東印部隊機務整備所	二	永
A	二三四	二	永
B	二三四	二	永
E	二三四	二	永
J	二三四	二	永
二三四	二三四	二	永
二三四	二三四	二	永

機務第二八二〇一五番



Handwritten signature or scribble.

航作機本

昭和廿年四月廿九日

發 東印空ポソチアナツク航空基地
宛 東印空司令
東印空ポソチアナツク航空基地
前小カアアス河上空ヲ低空ヲ通過ポソチアナツク西岸ヨリ九杆上流ニ
於テ在泊内火繼ヲ銃爆撃 戦死一名(河西一等整備兵曹) 輕傷三名(行方不明二名 基地異状ナシ)

道一七四七四 天二日ケ六(六二二二)五知(二二二)

坂本(田中)

人

四三〇 受傳一六四五 了 一七〇〇 一六〇五八 概〇

共 符

昭和廿年五月廿日

局長	一	機務部	三〇〇九三一	番
一課長	一	機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番
		機務部	三〇〇九三一	番

一KFGB 命令第一一號

左ノ通基地指揮官ノ命

國免大佐 柳引大佐 富高、古橋大佐 立見大佐 美保、關野中佐 宮崎 第七六二航空隊司令(富高七二一空司令)

一八二四四 呂一Bケ七七七八七五〇 一KFGB 放

坂本(田中)

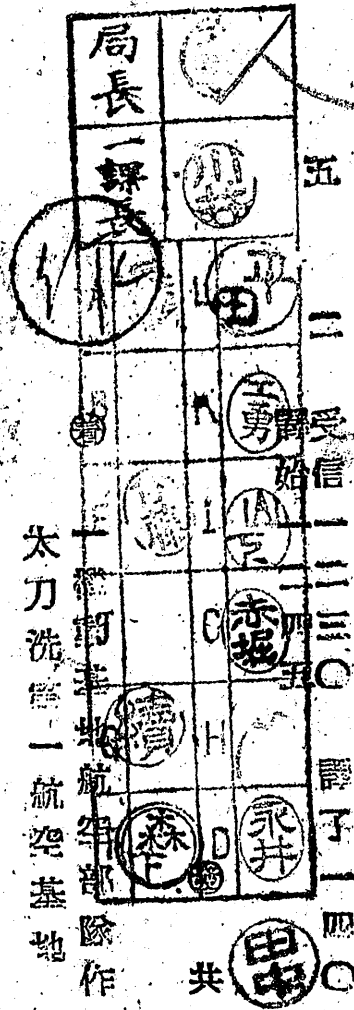
446T

通九四五 呂一Bケ一 (七八七五K) 一KFG B放

蘭根 (久保臣)

一KFG B信電令第三三號
右ノ通臺地揮官ヲ命メ (宛メ) 宮崎基地武蔵中佐 (七六二空司令)

機密第〇二一〇五四番電



太刀洗 第一航空基地
一課長 基地航空部 隊作戦命令着信艦所

航作 本艦 〇

昭和七年五月廿日

五 六 受信一九〇四 譯始一九二七 譯了一九五七 電〇三三三一 作 概〇

緊急

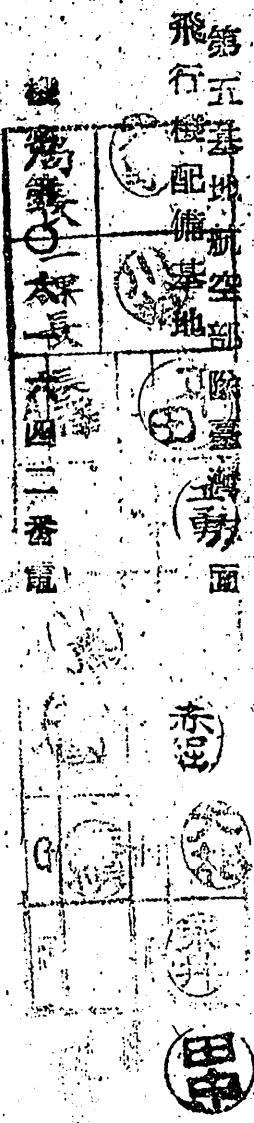
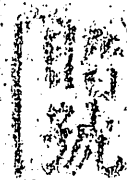
第一航空艦隊口

昭和廿五年五月拾日

第一航空艦隊電令作第四號

富永大尉ノ七六五空司令承命服務ヲ解キ二〇五空司令承命服務ヲ命ズ

同官ハ速ニ進出スベシ



機三七一〇 機一ケ十一 (一) 三四七、五〇 (一) 五FGB 村山 (内田)

五九

受信一九二八
開始一九〇〇

譯了一九三五
電〇四六九七

作機
昭和廿年五月拾日

鹿屋航空基地

作

局長	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
司令	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
副司令	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
副主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
副主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
副主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
副主任	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十

航空基地航空部隊作戦命令通信網所

田

一五FG
左ノ通基地指揮官ヲ命ズ
松山内海空司令美保山陰空司令南群林田大佐笠ノ原土山中佐新川關野
中佐（五月十日附）

通五二六九 号一八十一（七八七五） KFGB

午（潜）狩

五二一

開始〇五三〇八

了〇六〇〇 電〇五三七二 作

概

昭和廿年五月拾日



三上無根▽・三三無根▽・北菲航空隊

部 隊

機密第一〇一八〇一番電

發 〇 上 〇 參 謀

今後功績アリキノ(時ニ感狀賞狀該當者)ヲ報告セラルル様留意ナリ度

一官職氏名 下士官兵ハ入籍番號向上不明ノモノハ在籍留守府署

二所屬部隊名

三攻撃日時場所戦脚要領戦果及戦死或ハ生還別

四其ノ他參考事項

週六〇一四

天一〇ヲ十八(五〇八五K) 航空基地 清水(松山)



五	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
屬長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	〇五六三四
二	三	四	五	六	七	八	九	十	〇五六三四	作
三	四	五	六	七	八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	作
四	五	六	七	八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
五	六	七	八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
六	七	八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
七	八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
八	九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
九	十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作
十	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	〇五六三四	作

● 三一通信隊
● 大海參一部。南西方面部隊

機密第一一五〇四番電

發 三二警備部隊指揮官

宛 南西方面艦隊參謀長

五月十一日兵曹長岡田美實（舊佐志水一七二六〇）ノ率キル海上特攻隊

大發一隻（艇長上等兵曹野田伍市（佐徵水二三四三六））内火艇一隻（

艇長上等兵曹井上武春（吳志水一五一九六））ヲ表彰セリ理由五月十一

日〇〇三〇頃折柄ノ豪雨ト暗夜ヲ利用シ「灣敵艦船泊地ニ突入敵中

型艦艇二隻ヲ撃沈セリ大發ハ無事帰還セルヲ内火艇ハ禾ダ帰還セズ。

通六二七七 呂一八ラ十八（一五七一〇）三二通 伊藤（候届）

昭和廿年五月拾貳日

五 一三 受信一四〇五 譯了二五五一 電〇六四九〇 航作概本〇

至急

東 通

共 符



申良、出水各空基地・垂水空・佐鎮口

機密第一三一〇二八番電

發 第五航空艦隊參謀長

宛 航空本部總務部長

通報人事局長 第二二聯合航空隊司令官 垂水航空隊司令

垂水航空隊ヨリ申良基地派遣中ノ臨時魚雷調整班ハ現作戰ノ狀況ニ鑑ミ
現兵ヲハ同基地ニ常駐セシムル要アルニ付當該隊ニテ實施中ノ空地分離
トテ關聯 九州航空隊ニ編入方取計ヲ得度 名簿ハ人事局宛後送ス

通七 一七六 呂一Bケ十一(一〇二六五四)六符系 筒井(山中)

昭和廿年五月拾四日

五一五

受信一九一五
譯始二〇五七

譯了二二四四

電〇七七〇九
〇七七〇〇

作概〇

昭和廿年五月拾六日

至急

七

艦

隊

戸

東通・聯合艦隊戸

佐鎮戸

機密第一五一四二八番電

二分ノ二

宛 大本營海軍參謀部第一部 軍務局

通報 人事局 海上護衛總司令部

對馬海峽方面一連ノ要アラバ各部防衛ニ專念スベク戰隊（特攻戰隊又

ハ根據地隊）司令部設置ノ要ニ關シテハ第七艦隊機密第一五一五三一

番電ノ進リナルト其ノ後當隊參謀（聯合艦隊兼佐世保鎮守府參謀

浦部中佐同行）ヲ現地ニ派遣詳細調査研究ヲセシメタリ結果同方面ノ

戰備促進並ニ作戰ノ統制上之ガ絕對必要ナルヲ確認セリ 近ク參謀ヲ

出頭請告セシムルモ右ヲ待タズ 急速實施方取計ヲ得度

通八五二〇三 呂一B 佐世保

加根（州口）



五 一六 電信〇二五〇 電丁一〇二〇 電〇七九九七

佐伯航空隊

海軍部。航空本部。吳鎮守府。吳防備隊司令部

機密第一六〇〇二二番電

宛 人事局長

五月十五日附航空兵力移動。對シ左記御配慮ヲ得度

一、水信關係搭乗員及操縱員幹部ハ作戰ノ爲相當減耗シテニ付總員殘

二、東海空山田少尉(ヨヒニ〇七五)「〇」ハ兵器實驗研究ノ爲當除殘留

一、東通註 本電誤字係、ナ多シ

通八七四八 呂一、ケ十一(七四四二機)吳通 森(松山瑞)

昭和廿年五月拾七日

就作 本電

五一六 受信〇〇六一五七 了〇七三〇 電〇七七九五 航作概本〇



東京通信隊・九〇一航空隊
航空本部・海軍總司令部・京城在勤武官・吳防戦
九〇三空・吳鎮守府

機密第一六〇一〇九番電

受報者 人事局

機密海軍總司令部作第一五號及吳鎮守府司令部作三二號ニ依ル東海六機一整備員二〇名ヲ附ス。元山基地進出ハ左ニ依リ之ヲ實施ス

一整備員五月十六日午後發（陸行）

二飛行機隊

(イ)五月十八日午前發

(ロ)航路 佐伯→京城（補給）→元山尚物件輸送ノ爲貨物輸送機一機至
急佐伯航空隊ニ派遣方御手配ヲ得度。

西八七六九 馬一〇分十一（〇〇〇〇〇〇） 藤永（松山）

昭和廿五年五月十六日

局長	
一課長	
A	田
	王勇
	東
	赤堀
	永井
	田

五
一〇八
受信一九五四
譯始〇八三二
譯了二〇一一
電〇九八八一
作
概

機密第一八一七五九番電 二分ノ一

二道支監除口

宛 人事局長 大海參一部長

當方面緊迫化セル情勢ニ鑑ミ左記充員ノ要ヲ痛感スルニ付至急實現方

御配慮ヲ得度

一 作戰指導及戰備強化業務繁忙ノ爲香港根據地隊司令官。

一 電信課註 本電二分ノ二既配布)

通一〇一五 呂一Bケ十二(七四六五IC) 上海 關根(小澤滿)

昭和廿年五月廿五日

五 一八

受信 三〇三五
譯始 三三三五

譯了 二三三〇 電〇九三九九

作概〇

平 魚

二 遣 支 艦 隊



東 京 通 信 隊

支 那 方 面 艦 隊

機密第一八一七五九番電二分ノ二

宛 人 事 局 長 大 海 參 一 部 長

ト 參 謀 長 ト ナ 一 名 充 員

三 海 正 面 防 備 及 特 攻 隊 指 導 ノ 爲 參 謀 (水 雷) 一 名 充 員 比 島 方 面 警 備

ノ 指 導 ノ 爲 參 謀 一 名 充 員 (謀 報 班 員 陸 軍) 協 同 編 成 セ ン

「 電 信 課 註 本 區 二 分 ノ 一 未 着 」

通 一 〇 三 五 四 呂 二 B 十 一 (四 〇 四 五) 上 海

楠 本 (小 林)

五一九 緊急 受信一八五三

了二二一 電〇九六七〇

航空本機〇

昭和四年五月廿日



出水航空基地 航空艦隊P

機密第一九一四三〇番電

五航空艦隊P 豊橋空

發 松島航空隊司令

宛 出水部隊指揮官

通報 人事局

當隊改編ニ伴ヒ美嶽松島ニテ教育實施豫定ノ所當隊ノ配員並ニ現狀ニ於テ出水部隊ニ兵力ノ派遣ハ極メテ至難ナルヲ以テB級一ヶ月夜雷艦可能ニ搭乘員一〇組程度ヲ同飛行隊ニ轉勤セシムルコトトシ營隊派遣兵力ハ速ニ原隊ニ復歸スル如ク接洽方御配慮ヲ得度 尙 整備分隊長信長至急歸隊セシメラレ度。

道一〇七九〇 月一Bケ一ー一ー B 一 讀空 未光一福田一

作

五一九 受信二一四六 譯了二三五五 電〇九六七二 作機〇
航本

局長	東謀長	譯始	二五〇
A	日通	K	子勇
J	永井	永井	永井

九三六空・足柄

機密第一九一八〇〇番電

發 參謀長

宛 東京中央

第五戰區搭載機ヨリ削除關係機材人員ヲ第九三六航空隊ニ編入方編取計

ハレ度

通一〇八七七 口一Bケ一一一七五九〇KC一十通 村尾(杉本)

昭和廿五年五月廿四日

五三。受信五〇四〇。譯了。見三五。電一四八七。先
航務機。

高防

着

三三連隊五全連隊

機密等三三四。七番電

美濃部部隊指揮官

ハトリナオ基地指揮官

三十一日二三〇敵小型機一六機ハトリナオ末薩夜約一五命

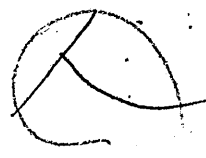
二五リ鏡爆連ス舞志水一五三四七上水大ハキシツトム

舞一補水五〇六上水十藤田テル武豆連 彈ニ依リ

退避所空壕破壊井上砂ノ為屋瓦戦死其他

異管甲十シ。

三三六〇七 天Bラ十三(四七〇五姓)百機 陸平(終レ)



局長					
一課長					
A	看	L	山	山	山
B		K	山	山	山
E		I	山	山	山
J			山	山	山
			山	山	山
			山	山	山

六一 受信。五二五 譯了。〇七〇 電。〇〇一三六 施作概本。

機密第三一五〇番電

發 三二七 B 指揮官
宛 南西方面艦隊司令長官

通報大本營海軍參謀部第一部長 聯合艦隊司令長官
施設本部長 吳施設部長

五月三十日第馬三施設部少佐才出張所技術大尉岡内忠雄(電報符不明)指揮員三員隊(約一五〇名)ヲ最勤セリ
理由

右ハ昨年来敵機來襲下第二才基地補修隊トシテ

通光七 呂(〇七)五(七)五(七)三二通 日中(東野)

昭和廿年六月五日

不断急速補修ヲ完テ航空作戦ノ遂行ニ遺憾ナク
 元々或ハ助急急修成作業ニ当リ今次高方面ノ戦斗
 開始後ハ常ニ最前線ニ鋭敏な陣地構築ヲ執送
 道路ノ破壊補修ヲ擔當有ニテ困難ヲ克服シ任務
 ヲ遂行シテ功績特ニ顯著ナリ

(三)